老朽原発うごかすな！ニュース

第７３号
発行・老朽原発うごかすな！実行委員会

【連絡先】
090-1965-7102

５・２９を前に各地でヒトリデモ

５月17日、枚方ヒトリデモを13人の参加で行いました。

枚方市役所前から市の中心部まで１時間かけて、「老朽原発うごかすな」「このまま廃炉」と訴えてまわりました。

集合・解散地点、枚方市役所前の岡東中央公園の側では大阪カジノ反対の宣伝・署名行動が取り組まれていました。（瀧川）

５月18日、老朽原発うごかすな！実行委員会の実務者会議の後、そこから東寺を回って10人でヒトリデモ。

５月21日、福井駅から、「原発のゴミ処分の責任を果たすのは誰かを問う県民の集い」会場まで３人でヒトリデモを実行しました。多くの高校生が手を振ってくれました。（橋田）

５月23日、中之島の裁判所から関西電力本店を回るヒトリデモを16人で行いました。左の写真は関西電力本店前です。

３時30分から老朽原発・美浜３号機運転禁止仮処分第４回審尋が開かれます。（松原）

☘ 5月29日（日）はうつぼ公園へ！ ☘

12:00～オープニングライブ　13:00～集会

「原発のゴミ処分の責任を果たすのは誰かを問う県民の集い」福井県で開催される

原発のゴミ処分の責任を果たすのは誰かを問う県民の集い（５月21日）

５月21日、表題の集いが、同名実行委員会主催で、福井県の国際交流会館において開催され、関西から３人で参加しました。「青森県は核のゴミ捨て場ではない」との表題で元青森市長・現青森市議の鹿内博さんが講演されました。

青森県は大間原発（建設途中）、東通原発の他、六ヶ所村再処理工場、むつ市使用済核燃料中間貯蔵施設、高レベル放射性廃棄物貯蔵管理施設、低レベル放射性廃棄物埋設センター等多くの原子力関連施設を抱えています。そして、沖縄の次に米軍基地が多い県でもあります。危険なものばかりを持ってこられた青森県の苦悩を吐露され、核のゴミ問題を国民的課題にしなくてはならないと訴えられました。

「あなたの街が核のゴミ捨て場になったらどうしますか？」正に自分事として考えたいと思いました。

５月28日に「青森県を核のゴミ最終処分地としない」県民集会を開催する予定ということです。

（若狭の原発を考える会　橋田秀美）

美浜３号機運転禁止仮処分　第４回審尋報告

世界の老朽原発再稼働に影響を与える大事なたたかい

昨年６月21日に申し立てられた「美浜３号機運転禁止仮処分」の第４回審尋が、５月23日、大阪地裁で行われました。

老朽原発うごかすな！実行委員会は、前段集会の前に、関電をめぐるヒトリデモを行って、原告団、弁護団を激励し、５・29大阪大集会の宣伝も行いました。

今回、裁判官が２人交代しました。争点項目について改めて、双方、確認を行いました。申し立て側は、深層防護について、あくまでも１から５層のすべての項目が整備されていなければ、原発を動かしてはならないと強く主張しましたが、関電は、基本的に、４層までが整備されていれば、５層（避難計画）は特に問う必要はないという従来通りの主張でした。また、こちらが避難計画についての準備書面を出したのに対して、関電は出しませんでした。

規制委員会の「バラツキの考慮」を削除した改訂基準地震動ガイドを待って、それを根拠にしたい意向が見て取れるという弁護団の報告でした。

裁判所は、本年10月予定の美浜３号機再稼働前には決定を出すとの意向です。もちろん、そうあるべきだと思います。

「老朽原発をうごかさないで」は、原発立地でも多くの人の願いです。美浜３号機再稼働を阻止できるか否かは、全国の今後の40年越え原発再稼働に大きな影響を与えます。国内のみならず、世界の原発にも。

私たちの責任は大きいです。この裁判を市民運動で力いっぱい支え、勝利を勝ちとりましょう。５月29日（日）は、大阪のうつぼ公園に集まってください。

結審になると思われる第５回審尋は、７月４日です。ご支援をお願いします。

（実行委員会）